

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 6 月 1 日

事業名称		郷土博物館事業費 [郷土博物館事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	4	郷土博物館費	事業番号	2
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課 郷土博物館					係	課長名		高田匡章		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 2		
【施策名】 生涯学習の充実								総合計画書(ページ)	35		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民					市の人口					
	→					→					
1 この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	郷土の自然・歴史・民俗(くらし)への興味関心を深め、理解する。					来館者数					
	→					→					
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	①企画展示の開催 ②プラネタリウムの投影 ③観察会など講座の開催 ④学校授業(学習投影を含む)の受入れ その他、ロビー展示、資料の受入れ、整理・保管、狭山緑地の自然(野鳥・チョウ)調査、オオムラサキの保護活動、印刷物の発行など。					①企画展示開催数 ②プラネタリウム観覧者数 ③観察会など講座の開催数 ④学校授業への協力件数					
	→					→					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,266					
	成果指標	②の数値	人	53,588	45,561	40,831					
	目標	②の目標値	人		54,000	54,000		41,000			
目標値設定の考え方 新型コロナウイルスの影響がある中、昨年度をやや上回る数値とした。											
2 指標の推移	活動指標	③の数値	①回 ②人 ③回 ④件	①6回 ②16,313人 ③179回 ④135件	①4回 ②15,593人 ③145回 ④103件	①5回 ②12,374人 ③109回 ④104件					
	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 再任用職員の人件費(週4日勤務)年間単価 3,035,000円【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)特定財源は郷土博物館観覧料と電子複写機使用料										
3 経費	事業費(実績)		円	7,954,349	7,526,999	7,525,425					
	財源	一般財源	円	7,945,149	7,522,699	7,525,425					
		特定財源(国・都・他)	円	9,200	4,300	0					
		(うち受益者負担)	円	9,200	4,300	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0					
		所要人数(再任用)	人	0.5	0.5	0.5					
職員人件費(再任用以外)		円		16,620,000	16,760,000						
職員人件費(再任用)	円		1,509,500	1,517,500							
事業費+人件費		円	7,954,349	25,656,499	25,802,925						
4 環境変化等	(1) 開始年度	6 年度									
	(2) 環境の変化	新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため、前年度の令和2年3月5日から5月27日まで臨時休館。プラネタリウムの投影再開は6月2日から。小中学校も臨時休校となり、緊急事態宣言発令下では校外学習の自粛など、博物館の団体利用に大きな影響が出た。幼稚園、保育園も同様。プラネタリウムの席数を減らしたり、講演会等は定員を厳しく絞るなどの対策をとった。 こうした中では、夏のプラネタリウム番組はマスクミで紹介されたこともあり、投影2時間前にはチケットが完売してしまい、臨時に投影回数を増やし対応した。									

事業名称	郷土博物館事業費 [郷土博物館事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 主にプラネタリウム投影時や企画展示の新型コロナ感染症対策等			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：③学校授業への講師派遣、講座及び展示への協力、オオムラサキ保護活動など 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
7 課題	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 情報共有と話し合い、個々の考え方を尊重しつつもお互いが共通理解と目標を持って活動していくこと。			
	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 新たな広報手段の有効な活用			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 積極的な新聞各社への情報提供とマスコミ対応。			
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 広報活動による集客とコロナ禍における3蜜を避けた運営方法の構築			
	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名：生涯学習の充実 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 地域の自然、歴史、民俗(くらし)、日本画家・吉岡堅二に関することから宇宙のこと(例えば、土にうまっている縄文土器から小惑星探査機はやぶさ)まで幅広く調べ、収集し、展示、教育普及活動を行い、東大和の魅力を守り、伝えていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 職員自らが各専門分野での知識・技量を高めるとともに、グローバルな視野を持ち仕事を展開すること。 新型コロナウイルス感染症がなかなか終息しない状況での、館の運営方法の模索。			